

ふれあし広場

このページは市民の皆さんと一緒に作るページです。投稿・登場をお待ちしています。秘書広報課（市役所内線207）

クローズアップ

今、「旬」の人や団体を紹介します。



「こうべ手話フェスティバル」手話スピーチコンテスト一般の部で準優勝

岡崎 隆吾さん

諦めない、やればできる
手話への理解と推進を願って8月に神戸市で開催された「こうべ手話フェスティバル」の手話スピーチコンテストで、西脇市在住の岡崎隆吾さんが準優勝に輝きました。
* * *
岡崎さんは2歳のときに難聴と診断され、3年間ろう学校幼稚園部で学習。その後、日野小学校へ入学しました。「低音なら少し聞こえる」という岡崎さんは、5年生のときに秋祭り太鼓をたたき「乗子」に興味を持ち、「挑戦したい」と父親に相談。父

親や地域の方との猛練習の末、乗り子として太鼓をたたき、という目標を達成しました。
進学した姫路聴覚特別支援学校では修学旅行先で沖繩を訪問。鑑賞した伝統芸能「エイサー」に感銘を受け、卒業後には聴覚障害者で構成される神戸ろう太鼓集団「鼓神」に入団し、イベントや大会でエイサーや太鼓演奏を披露するなどの活動を続けています。出場した手話スピーチコンテストでは、苦勞して書き上げたオリジナル曲を「日本太鼓全国障害者大会」でチームみんなで演奏したことを発表。また、「聞こえないでも諦めない、やればできる」を信念に「より高みを目指して、鼓神の代表として活動を続けていきたい」と来場者に力説し、会場からは拍手が起りました。
岡崎さんは「チームのメンバーへの指導方法を工夫するほか、西脇を誰もが手話で会話できるまちにするため、手話の普及に努めたい」と今後の目標を語りました。

市民の皆さんのまちづくり活動を紹介します

みんなでまちづくり♪

いきいきにしわきっ子



はるき ゆな
池田 悠生 有那
3歳7ヵ月 1歳7ヵ月

楽しい毎日を過ごさうね！
雄一・早希（大野）

いきいきにしわきっ子を募集しています。写真と紹介文、連絡先を市役所2F秘書広報課へ郵送またはご持参ください。

セントラルカーニバル／コミセンまつり
▼とき 10月20日（日）午前10時～午後4時
▼ところ コミュニティセンター西脇区会館、旧来住家住宅および周辺駐車場
▼内容
○セントラルカーニバル
・大抽選会（会場で購入した方に抽選券を贈呈）
・播州織ンピック2019（ゲームの結果で当選確率に変化する抽選会）
・その他（ステージイベント、屋台物産コーナーなど）
○コミセンまつり
・芸能大会・水墨画・洋画・写真などの作品展
・空とぶ風船プレゼント
・その他（喫茶コーナー、スケッチ展など）
▼共催 協同組合西脇商連、西脇地区コミュニティイ活動推進協議会
▼問合せ セントラルカーニバル／西脇商工会議所（☎22-3901）／コミセンまつり／コミュニティセンター西脇区会館（☎22-2127）



西脇病院 地域に信頼される良質な医療を提供します
☎22-0111 ☎23-0699 http://nshp.jp/

西脇病院「健康セミナー」

▼とき 10月21日（月）午後3時～4時
▼ところ 病院講堂（2階）
▼講師 整形外科部長 伊藤淳医師
▼内容 腰痛について
▼参加費 無料
▼その他 西脇健康ポイント制度対象講座
▼問合せ 病院総務課（病院内線367）

ひだまりサロン

がんの体験者やその家族が、悩みや不安、体験を語り合うサロンです（申込不要）。講話では自宅でできる体操を学ぶことができます。
▼とき 10月23日（水）午後1時～3時
▼ところ 病院講堂（2階）
▼対象 がん体験者とその家族（西脇病院の受診の有無は問いません。市外の方も可）

糖尿病教室

▼内容 交流会および理学療法士による体操と講話
▼参加費 無料
▼問合せ がん相談支援センター（病院内線331）
▼とき 10月25日（金）午後2時～3時
▼ところ 病院講堂（2階）
▼内容 足を守って快適に♪フットケアの実際／毎日、自分の足を見ているか？

寄付封筒を募集

▼参加費 無料
▼持ち物 糖尿病手帳、運動継続カレンダー（お持ちの方のみ）
▼その他 はだしになりやすい服装でお越しください。
▼問合せ 内科（病院内線535）
通信に利用する封筒を無償で提供いただける寄付者を募集します。広告掲載枠を宣伝手段としてご活用ください。病院の文書の郵送に使用する封筒（角2号）は、広告掲載枠が最大4社で、1年間で1万枚を使用します。詳しくは病院ホームページをご覧ください。
▼募集期間 10月1日（火）～31日（木）
▼申込み・問合せ 経営管理課（病院内線363）

心エコーの弱点



循環器内科部長 櫻本 博也

心エコーは心臓の解剖、いろいろな疾患の評価において他の検査よりも大いに利点があります。しかし、唯一の弱点が、冠状動脈（心筋に酸素および栄養を送る動脈）の狭窄が評価できないことです。そのため、狭心症の診断ができないことが多いです。また、狭心症の治療として経皮的冠動脈形成術（風船療法）詰ま

った冠状動脈を機器を使って内側から拡張して血流を改善する方法）が良いのか、冠動脈バイパス術（詰まった血管をう回するように別の血管を冠状動脈につないで、血流を改善する方法）が良いのかを評価できません。
冠動脈病変の診断と評価には、運動負荷心電図（わざと心臓に負荷を掛けることによって、安静時では見られないような変化を検査する）、冠動脈CT（エックス線を使用して心臓の断面を検査）、心筋シンチ（放射性同位体を含んだ薬品を投与し、心臓へ集まった薬品を放射線で映す機械で映像化することによって心臓を検査）の方法がありま

す。最終的には、心臓カテテル検査（カテテルという細い管を血管へ通して心臓を検査）での評価となります。現在、循環器内科医は、この冠動脈病変をどの手段でいかに評価するかで苦勞していると言ってもいいでしょう。逆に言えば、それ以外の心疾患は、心エコーがあれば外来で評価が可能ということ。最後に心エコーは四次元での評価が必要です。心臓は三次元の立体です。しかし、心臓は常に動いており、時間軸を加えて「心機能」として評価する必要があります。故に、心エコーを理解するには、四次元で心機能を構築する知識が必要となります。

エントランスホールギャラリー

HOWBIさんによる絵画や書、写真などの作品展示です。
▼とき 10月7日（月）～31日（木）
▼ところ エントランスホール
▼問合せ 経営管理課（病院内線363）